様式第14号(第15条関係) 造 施 の 現 状 報 告 書

\	現の歌になり	た 族 の	L 1	大 報	台 書	<u> </u>			1	
(実施機関の職氏名)										
大司のしたり際字の理性が提生します										
下記のとおり障害の現状を報告します。 年 月 日										
年金証書の番号 第 報告者の住所									号	
			<i>ハ</i> が	生 別 な						
		ふ り	///-							
									<u> </u>	
1 死亡職員の氏名				(死亡年	手月日		年	月	日)	
	氏 名	生年月日						*\ D	77.0	
			住			所	死亡職		障害の	
							との紡	元怀	有 無	
2									有・無	
									H 222	
受給権										
者及び										
その者									有・無	
と生計										
を同じ										
くして									有・無	
いる遺										
族補償										
年金を									有・無	
受ける									11	
ことが										
できる										
遺族									有・無	
									有・無	
			- 1							
	年金の種類		_	年金訂	正書の	支給	開始	所	属社会保	
3	(障害等級	年金の年額	1	記号番号		年				
公的年	第級)					<u> </u>		'		
金の受 給関係			円		号	年	月			
			円	 第	号	年	 月			
								.[7/1 ==	u Arron	
*□支給 □支給停止 (□免責 □条例附則第3										
【条の一時金 □所在不明 】										

[注意事項]

- 1 この報告書は、遺族補償年金の受給権者が提出すること。ただし、受給権者が2人以上ある場合で代表者を選任しているときは、その代表者が代表してこの報告書を提出すれば足りるものであり、他の受給権者は提出する必要はないこと。
- 2 報告者は、※印の欄には記入しないこと。
- 3 「障害の有無」の項には、該当する箇所を○で囲むこと。
- 4 この報告書には、次に掲げる書類を添付すること。
 - (1) 受給権者及びその者と生計を同じくしている遺族補償年金を受けることができる遺族の戸籍の謄本又は抄本あるいはこれに代わる市区町村長の発行する証明書
 - (2) 受給権者と生計を同じくしている遺族補償年金を受けることができる遺族については、その事実を証明することができる書類
 - (3) 受給権者及びその者と生計を同じくしている遺族補償年金を受けることができる遺族のうち、障害の状態にある者については、その障害の状態に関する医師の診断書